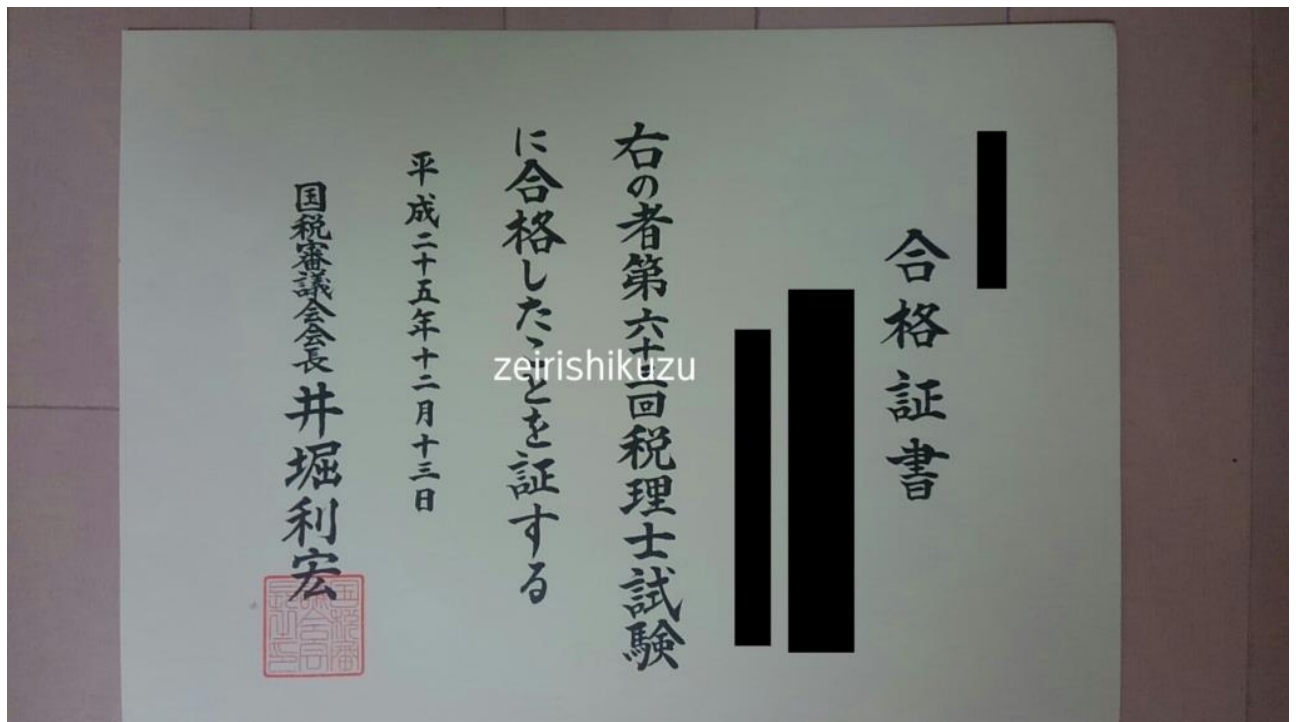


「今日はやる気が出ない…」

そんな言い訳ばかりをしていた私が仕事をしながら合格率2%
の壁を突破した

楽に物事を継続させる秘訣



税理士試験合格者の九頭(くず)と申します。

税理士試験は科目合格制の試験で、5科目合格すれば合格者となれるわけですが

・5科目合格までの平均年数は約10年(合格者の平均年数なので10年かけて合格していないの方が圧倒的多数と思われます)と言われている

・5科目合格者は毎年約2%しか誕生していない(令和元年は29,779人受験で749人合格のため、約2.5%)

という数字を見るとかなりの難関試験であることが分かります。

私自身、順調に合格できたか？というと、そうではなく

- ・同じ時期に勉強を始めた多くの同期に先を越される
- ・あまりに出来が悪すぎて同期の一人からは「向いてないんじゃないの？」とハッキリ言われる
- ・後から勉強を始めた多くの人たちにも先を越される
- ・お世話になっていた先生に不合格の報告をしたら「お前のせいで連勝記録が止まったよ」と嫌味を言われる
- ・合格のために大事と言われる暗記力、文字を速く書く能力が著しく低い

といったことを経験しているので間違いなく税理士試験に不向きな受験生だったと言えるでしょう。

しかし、そんな私でも合格できたのは受験生活の中で2つの武器を手に入れたからです。

それが

- ・物事を継続する能力
- ・多くの受験生を出し抜くことが出来る税理士試験の本質に迫る勉強法

といった2つの武器です。

この2つを有効に活かすことで合格者の中でもトップクラスの実力を身につけ合格できました。

こちらは私の試験1ヶ月半前の全国模試の結果です。

後で先生に聞いたところ、400番くらいまでが合格圏内ではないか？とのことですが（右側に順位が書いてあります）

13:20 午後試験 試験力と内務試験

判定不能

科目	法人税法
合格可能性	S
受験地区	
受験番号	
受験者氏名	

	配点	最高点	平均点	得点	上位%	順位	受験者数	判定
第1問	50	50	16.3	31	3.9%	77 /	1964	S
第2問	50	47	26.9	37	3.4%	67 /	1964	A
第3問	—	—	—	—	—	— /	—	—
計	100	92	43.2	68	1.8%	35 /	1964	

第1問講評	完璧な合格答案です。よく内容を理解しており、またそれを答案に上手く反映できています。今後は現在の力を維持し、さらに万全を期して上乗せを図ってください。今回の結果に油断せず更に努力し、健康管理にも気を配って、心残りがないうち本試験に臨んでください。このまま突っ走れ！
第2問講評	多少の取りこぼしはありますが、制約された時間内でよく解答できています。今後はより一層の正確な答案を目指し、ケアレスミスをなくすことに重点を置いて最後の総仕上げをしてください。今よりさらに高いレベルで本試験に臨めるよう、毎日の練習を怠らないようにしてください。ケアレスミスの防止が合格を導く！
第3問講評	設問なし
総合講評	論議、計算ともに完璧な合格答案です。本試験でもこの力を発揮することができれば合格は確実です。しかしまだ試験まで時間があります。ここで気を緩めてはいけません。本試験当日に最大の力を発揮できるよう、今までに修得した知識の総チェックをし、さらに高みを目指してください。驕るべからず！

科目	
合格可能性	

	配点	最高点	平均点	得点	上位%	順位	受験者数	判定
第1問								

受験者1964人のうち、35位に入っています。

これが本試験なら文句なしの合格です。

先ほどご紹介した2つの武器を活かして勉強を続けた結果、文句なしに合格できる実力を身に付けることが出来ました。

こちらでは私の武器の一つである

「物事を継続するための秘訣」

をご紹介します。

物事を継続させるために意識すべき3つの要素

私が物事を継続させることに特化していることを知ったのはここ数年のことです。

知り合いの方から

「物事を継続させる力が強い」

と言われたり

「やると決めたことは必ずやり遂げるタイプ」

と言われるようになったことがきっかけです。

確かに社会人になってから

- ・仕事をしながら6年間税理士試験の勉強をして合格した
- ・税理士試験合格後は仕事が更に忙しくなりながらも帰宅後に副業に取り組む
- ・日課としてランニングにも取り組み年間1000キロ以上のランニングを5年以上続けている
- ・毎日お風呂上りに10秒程度のストレッチを約20年間続けている(1日たった10秒でも続けると凄いことになりますよ！)

といったことをしているので、何かをコツコツ続けることが人よりも長けているのでしょう。

「いつも定時で帰れてるのかな？」

と思う方かもしれませんが、定時の5時に職場を出たことは少なく、繁忙期には自宅に着くのは22時～23時頃という中でやってきたことです。

その他にも長期の休みがあれば旅行をしたり、恋人がいればデートもしますので、人並みに遊ぶことも忘れてはいません。

なので、人並みに遊ぶことも忘れず、仕事をしながらも自己のスキルを身に付けることを続けてきたのです。

私は人からストイックに見られることも多いので

「お前だから出来るんだろ」

といったことを言われます。

しかし、これらは性格的なことはあまり関係が無く、続けるための「3つの要素」さえ掴めれば誰にでも出来ることです。

なぜ誰にでも出来ると言えるのか？

それは私自身が同じ悩みを抱えていた時期があったからです。

社会人1年目、仕事後に学校に通いながら週に2回の授業を受けていましたが講義中は全く話も聞かずに時計ばかりを見て、時々講義に出ないでサボるという明らかにやる気のない生活をしていました。

頑張ろうと思っても

「疲れて頭が働かない」

「今日はやる気が出ないから帰る」

そんな言い訳を自分にし続けていた1年間でした。

当然ながら学校内の成績は決して良くはなく、自宅での学習もほとんどなし。

試験1週間前に少しやる気を出したものの時すでに遅く、受験した2科目(所得税法・消費税法)は不合格に終わりました。

しかし、やる気が無かったとはいえ負けず嫌いの私にとっては不合格の結果は気分の良いものではありませんでした。

その時の反省を生かした結果、働きながらも勉強や副業を続けられる仕組みを確立出来たので私にとっては、あのやる気の無い1年間は大きな転機となりました。

そして、その後5年間働きながら試験勉強を継続し、無事に合格を果たすことが出来ました。

私自身は学生時代から税理士試験の勉強をしてきたため、合格に10年以上の時間を費やしています。

税理士試験は合格者の中で特に優秀な方は早い方は2～3年で合格してしまいます。

なので決して優秀とは言えません。

というか出来の悪い部類の受験生でしょう。

そして、私よりも優秀だけど、思ったように学習が進まずに成果を出せない方が多いことも知っています。

「私よりもずっと優秀なのに合格してないんだ…」

という事実を知るたびに

勿体ない…

という気持ちにさせられます

なので、そういった方の飛躍のきっかけになっていただければと思ってこのノウハウをご紹介します。

3つの要素とは

まず最初に私が大事にしている継続のために必須の3つの要素をご紹介します

それが

- ・習慣化
- ・目標
- ・環境

の3つです。

この3つを順番にご紹介していこうと思います

習慣化の大切さ…勉強をするためにモチベーションに頼り過ぎてはいけない？

1、モチベーションは長続きしない

社会人として働きながら勉強、副業に取り組まれている方々の中にはこのような方がいます。

「勉強したいんだけどモチベーションが…」

「忙しくてやる気が起きない…」

たしかにモチベーションがあった方が勉強出来るのは事実です

が、モチベーションに頼り過ぎることはあまりおすすめ出来ません。

私自身、働きながら税理士試験の勉強をするために専門学校に通ったり、働きながら副業をするために起業の塾などに入り、学習してきました。

その中で多くの方と出会いましたが、税理士試験の講座や起業のための塾が始まったばかりの頃には必ずと言って良い程

「よし！！絶対合格するぞ！！」

「起業して成功するぞ！！」

と、高いモチベーションを持っている方を何名か見かけます。

そのような方々がどのような結末を迎えるかをご存知ですか？

多くの方が3ヶ月以内にモチベーションを下げ姿を見かけなくなります。

理由は簡単で、人間のモチベーションというのは長続きしないからです。

モチベーションに頼り過ぎた結果、消えていった人をこれまで数多く見てきたので間違いないと自信を持って言えます。

モチベーションを理由に学習をしなくなった方々を見ていると大体3ヶ月が一つの山場です。

講座や塾が始まった直後というのは誰もが

「やっと始まった！」

「今回こそは結果を残す！」

とテンションが高めなのですが、スタート直後のテンションはいつまでも続かないので、スタート時のテンションに頼り過ぎている方々は3ヶ月経つと大体消えていきます。

受講する側にとっては教室が空くので何も困ることはありませんが、正直勿体ないなと感じます。

税理士試験は多くの方が9月か1月に学習を開始しますので6ヶ月以上は学習期間があります。

これだけの長丁場だと

- ・思ったような結果が出ない
- ・仕事が忙しくなってきた

など、モチベーションが下がるきっかけが沢山あるのでモチベーションだけで乗り切ろうとするのは無理があります。

なので、モチベーションに頼ろうという考えは絶対にしないでください。

では、モチベーションに頼らないのなら、どの様にすれば良いのか？

学習を習慣化すれば良いのです。

習慣化させることでモチベーションに頼らずに学習や作業を積み重ねることが出来るようになります。

なので、スタート直後のテンションが上がっているときにも

「いつかモチベーションは下がるから今のうちに習慣化できるようにしよう」

ということを心がけてください。

1日の中で必ずしている習慣を思い浮かべてみてください。

食事・歯磨きなど、色々ありますよね。

例えば歯磨きや食事でモチベーションが必要でしょうか？

何も考えず当然のようにしていると思います。

これこそが習慣化です。

なので

「朝〇時から30分は必ず勉強する」

などと決めて、毎日続けていけばそれが習慣になっていきます。

最初は1日30分でも良いでしょう。

そして、30分と言っても、まとめて30分取る必要はありません。

例えば、朝15分と夜15分の合計30分でも構いません。

毎日少しでも続けられれば確実に成果は上がるはずですし、ちょっとずつ学習時間は増えていくでしょう。

実際に結果を残す方は当たり前のように日々の学習や作業を積み重ねていきます。

それこそ食事や歯磨きのように、毎日継続するのが当たり前のこととして継続しているのです。

なので

「モチベーションが…」

と悩んでいる方はまずは

「1日のどこに学習時間を組み込めば無理なく続けられるか？」

を考えて、実行してみましょう。

まずは無理の無いように続けることが大事です。

2、習慣化の仕組みづくり

習慣化の壁は最初の2～3週間です。

何故なら最初の2～3週間は「忘れる」ことがあるからです。

最初の2～3週間の間はまだ習慣化されていないので、夜になって

「あ、忘れてた。まあ今日は良いか」

と言った感じでうっかり忘れて、その1回の「忘れてた」でやらなくなってしまう可能性が充分にあります。

運動を始めたけど続かなかった、と言う方は体験したことがあるのではないのでしょうか？

なので、最初は「習慣化の仕組み作り」をしましょう。

仕組み作りの方法は至って簡単です。

- ・朝起きたら最初に手に取るもの(スマホなど)を机の上に置いておく
- ・「〇時から30分勉強」など紙に書いて貼っておく

など、習慣化しようとしている行動を忘れないための工夫をしましょう。

例えばスマホを机の上に置いて、その机の上にテキストを開きっぱなしにしておけば

「そうだ、30分勉強するんだった」

と思いたすことが出来ますし、紙に書いて貼っておけば目にした瞬間に思い出します。

なので、こうした忘れないための仕組み作りも大事になります。

3、モチベーションは3段階で活用されている

先ほどからモチベーションは長続きしないから頼ってはいけない、ということをお話していると思いますが、正確に言うと最初のモチベーションが長続きしない、という意味になります。

モチベーションは3段階あり、このモチベーションとモチベーションの間をつなぐために習慣化が必要になってきます。

先ほど紹介した私が約20年間続けているストレッチを例に紹介します。

元々は体育の授業の体力測定でただでさえ硬かったからだが更に硬くなってしまったことがきっかけでした。

「これはマズい！」

とお風呂上り前に10秒間前屈を始めました。

始めて約1か月後、中指の指先が届く程度だったのに前よりも地面に触れられる部分が増えてきました。

「お！柔らかくなってる！！」

と思い、これは続けなければと思うようになりました。

更に続けていくうちに気が付けば指全体がくっつくのが当たり前になり、今では手の平がペツタリ地面につくようになりました。

今、これを止めてしまうとおそらく元の硬い体に戻ります。

しかし、せっかく20年積み上げたものを止めて元に戻ってしまったら

「止めなきゃよかった」

と後悔することは分かり切っています。

なので、この習慣は一生続けると思います。

さて、ここまでで実はモチベーションが3段階にわたって変化していました。

気が付いたでしょうか？

解説していきます。

まず最初

「このままではマズい！」

という気持ちがストレッチのきっかけになりました。

この最初のモチベーションがモチベーション1です。

そして、毎日続けているうちに身体が柔らかくなっていることに気付き

「よし、このまま続けよう！」

と思えるようになりました。

この、続けることで成果を実感し、更に頑張ろうと思えるのがモチベーション2です。

そして最後、続けてきて成果を実感すると同時に止めたら元通りになるから「止めたくない」という気持ちが芽生えるようになります。

この止めたくない、という気持ちがモチベーション3です。

なので

- ・始める時のモチベーション1
- ・成果が出始めた時のモチベーション2
- ・止めることに恐怖を感じるモチベーション3

の3つのモチベーションが活用されるのですが、このモチベーションとモチベーションの間を習慣化がつかないでくれます。

例えば始めたばかりの時、結果が出ないとモチベーション2に移行しません。

そして結果が出ないうちにモチベーション1が切れてくるのですが、この時に習慣化が出来ていなかったらモチベーション1が切れたと同時に終了です。

先ほど紹介した3か月後にはいなくなっている人たちの一人になってしまいます。

例えば税理士試験の勉強などは2年目以降の受験生も数多くいるので初学の方は最初は2年目以降の方と比べて中々点数が取れません。

経験上、初学の方が点数が上がってくるのは試験2～3ヶ月前の5月、6月くらいです。

しかし、それまでにモチベーション1が切れて止めてしまったら点数が上がる前に止めてしまうことになります。

そういったことを防ぐために習慣化を活用してモチベーションとモチベーションをつないでいきましょう。

超大事！！目標の明確化！

習慣化のおかげで毎日机に向かえるようになった！

しかし、働きながらだと1日のうちに机に向かえる時間は限られています。

そのため、何を学習すべきか？

あらかじめ決めておかないと

・何をするか？考えているうちにあっという間に時間が過ぎる

・机に向かってはみたものの集中できない

といったことが起こります

この、何を学習すべきか？をハッキリさせるために大事なのが

「目標の明確化」です。

人間の脳は厄介なことに目標のために必要性を感じていないことは積極的にやろうとしてくれません。

例えば算数のテストで100点満点を目指してるとしましょう。

一生懸命勉強して目指せ100点！！

と、思っていたものの出題される問題が

1+1

2-1

といった勉強するまでもなく解ける簡単な足し算、引き算の問題だったらどうでしょう？

こうなると多くの人は間違いなく勉強しません。

何故なら勉強する必要性がないからです。

反対に、このテストを受けるのが小学校に入る直前の、足し算や引き算を習ったことのない子どもだったらどうか？

絶対にテストまでに解けるように勉強しますよね。

100点を取るためには足し算と引き算の習得は絶対に必要なものだからです。

このように人間の脳は目標のために必要だと認識したことは取り組み、必要性を感じないことに関してはやろうとはしません。

なので、脳に必要性を認識させるために目標の明確化は必要になります。

そして、目標の立て方について大事なのが

「税理士試験合格」

「副業で毎月〇万円稼ぐ」

といった**大目標**と

「大目標のために〇〇を頑張る」

といった大目標へと続く、**小目標**を立てることです。

何故なら

「税理士試験合格！」

「副業で毎月〇万円稼ぐ」

という目標だけだと今現在何をすべきか？が分かりません。

税理士試験の場合は

「勉強を一生懸命頑張る」

「計算問題に強くなる」

「理論を一生懸命覚える」

という答えが出るかもしれませんが、ハッキリ言ってぼやけています。

勉強を一生懸命頑張る、という場合には

「合格のためには試験範囲のどの部分を一生懸命頑張るべきなのか？」

を脳に認識させる必要があります。

先ほどの「算数のテストで100点を取る」で例えると

大目標…算数のテストで100点を取る

算数のテストの内容＝簡単な足し算と引き算の問題

現状＝足し算、引き算が出来ない

小目標＝テスト当日までに足し算、引き算を教わって出来るようにする

このように、**大目標の要素分解と、現状の自分の立ち位置の把握**をすることで、大目標に行くまでに必要なものが見えてきます。

その必要なものこそが小目標です。

この小目標が明確になればなるほど、自分の脳に

「大目標達成のためには今、何が必要か？」

を認識させられるので日々の学習、作業に対する集中力が増しますし

小目標がある限りは、せっかく机に向かったのに

「何をすれば良いのか分からない」

という状態になることもなくなります。

私自身も勉強が習慣化されているけど明確な小目標が出来ていない…

という時期は机に向かっても

「何を勉強すれば良いか分からない…」

「とりあえず勉強する項目を決めて始めてみたけど脳が必要性感じていないので長続きしない…」

という状態で長続きはしなかったので、常に小目標を探すようにしていました。

税理士試験の合格を要素分解すると以下ようになります。

- ・大目標＝税理士試験の合格
- ・税理士試験の合格するには？＝試験本番で合格点を取ることが必要
- ・試験で合格点を取るには？＝試験範囲の中の各論点で合格点を取る実力が必要
- ・では現状はどうか？各論点で合格までの力が身に付いているか？
- ・身に付いていないのならどの論点が力不足なのか？
- ・その論点で合格点を取る実力を身に付けるにはどう勉強すべきか？
- ・その論点で合格点を取るための勉強をする

以上のように要素分解した結果

合格点を取れない論点で合格点を取るための勉強が必要

という結論が出て、これこそが小目標となります。

「税理士試験の合格」というよりも今すべきことが明確になりましたよね。

このくらいやるべきことを明確にすると人間の脳は必要性を感じ、吸収しようとする力が高まります。

テストで特定の論点で点を取れない、ということを経験するとその論点の勉強を一生懸命頑張るという経験をしたことがある方もいるかもしれませんが

それは、「点が取れなかった」という経験が、その論点を勉強することの大切さを脳に教えてくれるからです。

こういった、「今、何をすべきか？」の必要性に気付くためにも定期的に専門学校などでテストを受けることが必要になります。

この必要性に鈍感になってしまうのが受験経験者です。

税理士試験で2年目以降になって学習意欲の低下を感じたことはありませんか？

学習意欲の低下の原因の一つはこの小目標が明確になっていないからです。

1年間勉強して一通りのことは出来るようになった、なので合格のために勉強すべきことが明確になっていない…

という状況なので、試験合格という大目標に向かうための小目標が無い、というより小目標が何か？に気づいていない状態なのです。

税理士試験合格の次は副業系で要素分解してみましょう

副業でアフィリエイトをされている方が多いと思うので

「アフィリエイトで目標月額を稼ぐ」

を要素分解してみましょう。

・**大目標＝アフィリエイトで月額〇万円稼ぐ**

・**目標の金額を1ヶ月で稼ぐためには取り扱う商品を何個売らなければならないのか（月に何個、1日何個などを明確に）**

- ・そのためには1ヶ月で何人のお客さん(アクセス数)を集めないといけないのか？
- ・その集客をどのような仕組みで行うのか？
- ・その仕組みは出来ているか？
- ・出来ていない場合、何をすればその仕組みが出来上がるのか？

このように要素分解していけば、お客さんを集めるための仕組みをまず作らなければならないことが分かってきますね。

そして、その仕組み作りが今やるべき小目標になっていきます。

この場合の各目標の注意点としては

大目標…出来ると信じること、達成した後の自分の姿を想像する

小目標…今現在何をすべきか？が明確になるまで要素分解していく

以上の2点が注意点となります。

大目標の注意点

あまり精神論的な話は好きではありませんが、人は目標に対して「出来る」と心の底から信じられないと行動をしようと思わないのです。

なので、まずは「出来る」ことを知ることが大事になります。

恋愛で例えてみましょう。

好きな人に

「もう2～3キロ痩せてくれたら付き合う」

と言われた場合、おそらく多くの人は2～3キロの体重を落とすために努力するでしょう。

それは、2～3キロなら頑張れば落とせるはずと多くの人が思っているからです。

では、体重ではなく

「もう15センチ身長を伸ばしたら付き合っただげる」

と言われて身長を伸ばす努力をする人がいるのでしょうか？

ほとんどいないでしょう。

多くの人は「もう自分は身長は伸びない」と思っているからです。

このように、脳は出来ると思うことしか行動を促さないのも、まずは目標が出来るものと思ひ込むことが必要です。

私が税理士試験の勉強で伸び悩んでいた時期と結果が出ていた時期の一番の違いは正にこれでした。

結果が出ていない時は心の奥底で

「自分では合格できないのでは？」

という気持ちが常にありましたが、本気で合格を目指そうと思った瞬間そういった弱気な自分はいなくなりました。

そして、達成した後の姿を想像することの大事さですが、人間の脳は思い浮かべたことを実現化させようと言われています。

税理士試験受験時にはそんなことは全く知らなかったのもこれは偶然なのですが、私は社会人2年目の受験の時からほぼ毎日、5科目合格をして職場の忘年会で表彰されている自分の姿を浮かべていました(当時の職場は税理士試験に合格するとその年の忘年会で表彰してくれる職場でした)

5年間ほぼ毎日です。

ちなみに、経営者の方の中にもこれを応用している方は多く、手帳や作業用デスクの近くに

「〇月までに月収〇万円」

と書いたり、稼げるようになったら行きたい高級ホテルの写真などをいつでも目に入る場所に貼るそうです。

社会で結果を残して活躍されている方で取り入れている方も多いので、馬鹿に出来ない話だと思います。

他にもイメージするだけでなく、周りの人達に実際に話す方もいるようですが、これは自分に合った方法で良いでしょう。

小目標の注意点

小目標は一言で言うと

「今取り組むべきこと」

のことです。

日ごろの勉強や作業はこの「小目標」のクリアが目的です。

一つの小目標をクリアしたらまた別の小目標をクリアして…

ということを繰り返して最終目標である大目標のクリアを目指す、という風に理解していただければと思います。

ロールプレイングゲームで例えると、大目標が最後に倒すべきいわゆる「ラスボス」で、小目標はそこに行きつくまでに倒していかないと行かない「ボス」です。

結果を残す人ほど小目標を細かく細分化して一つ一つクリアしていくのが特徴的です。

小目標が明確かつ多数になれば必然的に勉強量・作業量が「増える」ことになり、必要なことが増えることで更に習慣化が進みます。

何となく「増やす」のではなく、必要性に気付かせて、やるべきことが「増える」ことが大事です

習慣化を助けてくれる2つの環境

学習を習慣化させるために私は2つの「環境」を大事にしていました。
それが

- ・場所
- ・時間

という2つの環境です。

高校野球の指導者の方でも、強いチーム作りのために、まず練習環境を整える方もいるくらい環境作りは大切ですので、習慣化のために良い環境を作る努力をしていきましょう。

勉強効率が一気にアップ！場所的環境

まずは**集中できる場所**を作りましょう。

自宅だと集中できないから自習室に行く、カフェに行く、というのはこの典型例ですよ
ね。

自宅だと集中できない！

というと、「意志が弱いんだよ」とか「根性ねえなあ」などという意見は脳の仕組みを知らない方の単なる根性論ですので無視しましょう。

自宅だと集中できないという時は、**自宅と言う場所が集中できない環境になっている**だけですので、無理やり集中しようとせずに

- ・新たに集中できる場所を探す
- ・自宅を集中できる環境に改造

するなどしましょう。

実際、私も

仕事が終わる → 帰宅 → 食事 → 勉強

となると、あまり勉強出来ませんでした。

帰ってから一息ついてしまっているのが一度オフモードになっているのが一番の原因です。

一度オフになったスイッチを再びオンにするのは大変ですので、帰宅するとオフモードになってしまう時は帰らないというのが一つの選択肢です。

その場合は自宅以外に集中できる場所を作っておきましょう。

実際に私が試験勉強や副業を行っていた時の勉強場所一覧です。

- ・簿記論、財務諸表論合格時(当時学生)・・・資格予備校の自習室、電車の中
- ・所得税法、消費税法合格時(当時社会人)・・・電車の中、路上(笑)、自宅
- ・法人税法合格時(当時社会人)・・・電車の中、資格予備校の自習室、自宅、会員制の有料自習室
- ・副業・・・自宅、有料自習室(有料自習室にロッカーを借りてそこにPCを保管していました)

「路上」というのは歩きながらの方が暗記が捗ったので2～3駅ほど歩いて暗記をしながら帰っていた時期があります。

ちなみに職場の方にその光景を目撃されたようですが気にしません。

合格すれば周囲が「あれだけ努力していたから合格したんだ」と認めてくれます。

他に興味を持たれそうなのは有料の自習室でしょうか。

当時は試験本番一週間前は自宅で勉強していて、所得税法と消費税法はそれで無事に合格出来ましたが、最後の科目である法人税法で不合格になったときに

自宅での追い込みがマンネリ化している気がする。よし、環境を変えよう！

と思い、自宅周辺の自習室を検索。

そして、雰囲気良さそうなところを見つけて試験2～3ヶ月前に入会しました。

月に1万円位はかかりましたが、来年再び受験するよりは月1万円の会費を2～3ヶ月払って合格の方が安いものですよね。

利用したところ、自宅で勉強していた時は朝の6時から始めてその日のノルマが終わったのが24時でしたが、有料自習室を使うと夜の19時までにその日のノルマが終わってしまいました。

しかも前の年よりもその日のノルマを多めに課していたのにです。

正に環境の大事さを実感した出来事でした。

そして、その年めでたく5科目合格しました。

有料自習室の宣伝のような話になってしまいましたがそれくらい「場所」という環境の持つ力は強いのです。

場所的環境と言うと、私が高校卒業後に進学した専門学校は正にこの場所的環境が最高に優れたところでした。

見学に行って驚いたのは、授業中に私語を話している学生が誰一人としていないことです。

19～20歳の学生が多い学校の授業なら授業中に会話している学生が教室中にいるのが当たり前だと思います。

しかし、その専門学校は誰一人として私語を話さず、授業が終わった後も直ぐに帰らずに自習している学生が数多くいました。

そして、その学校では税理士試験や公認会計士試験の最年少合格者を過去に何人も輩出しています。

これがおしゃべりしてばかりのガヤガヤしている教室で実現できたか？というと難しかったと思います。

周りが集中しているからこそ自分も集中できるし、「自分も勉強しないと」という気にさせられます。

正に優れた環境がなせる業といって良いでしょう。

ちなみにファミレスやカフェは周囲の目が気になったり、空いているお店を中々見つけられなかったので学習には使いませんでした。

遊ぶ時間も大事！時間的環境とは？

時間的環境とは1日の中の集中できる時間と集中できない時間を把握し、集中できる時間帯に思いっきり勉強するという考え方です。

ちなみに私の集中力が高まる時間帯は

- ・午前中
- ・午後6時以降

でした。

なので、平日は

- ・朝の電車で暗記など、電車の中で出来ることをする
- ・なるべく6時には職場を出て帰りの電車・自習室などで勉強

という日々でした。

休日の過ごし方は試験直前の追い込みの時期を除いて

- ・午前中に復習
- ・昼間は遊ぶ
- ・夜にまた復習や理論を覚える

といった生活をしていました。

昼間に遊んでいた理由は、昼間が1日の中で最も集中力が落ちている時間帯だったからです。

そして、休日になると勉強だけでなく、遊んで心と体を休めたほうが仕事も勉強も頑張れたので、最も集中できない昼間を頭と体の回復時間に充てていました。

このように集中しやすい時間帯とそうでない時間帯を把握しておくことで効率よい学習をすることが出来ます。

そして、この時間的環境を活かすもう一つの方法は

「この時間までに終わらせないといけない！」

という、時間制限を設けることです。

この時間制限は**自分でコントロール出来ないものであることが望ましい**です。

- ・見たい番組が始まるまでに課題を終える
- ・7時までには自宅を出ないといけないので6時50分までに終わらせる
- ・電車で目的地に着くまでに課題を終わらせる

などです。

人間は「今すぐにやらないといけない理由」があった方が捗るので時間が無いときはこういった時間の使い方も有効です。

今すぐやらないといけない方が頑張れるというのは夏休みの宿題などで経験している方も多いでしょう。

このように、勉強や作業をする上では

場所や時間などの環境面の整備を行っていくことも大事

ということを理解していただければと思います。

「物事を継続させる秘訣」まとめ

習慣化、目標、環境の3つを使って継続するコツは

- 1、まず、集中できる場所や時間を把握して毎日30分でも良いから続けていく
- 2、取り組む内容は、大目標と現状の自分の立ち位置から必要なことを理解し、その必要なことを一つ一つ確実にこなしていく

といったことを1日30分からでいいので続けていきましょう。

そして、学習時間や作業時間は「意図的に増やす」のではなく、「自然に増えていく」のが理想ですので、そのために常に「小目標」を作り、クリアしていきましょう。

毎日取り組む癖がつけば、後は結果が出るための取り組み方を身に付けるだけです。

結果が出るための正しい方法を積み重ねていけば確実に力が付きますし、力が付けば結果が出るのは必然です。

最後に私自身は税理士試験の勉強と起業のための勉強をしてきたので

- ・人より空欄が多くても人より高得点が取れる私の税理士試験勉強法
- ・無料で起業の考え方が学べるセミナー動画

をご紹介しますので、「**結果が出るための取り組み**」として参考にしてみてください。

字が汚くて読めない！人より空欄が多い！それでも合格してしまう税理士試験の本質に迫る合格勉強法（税法科目編）

<https://note.com/zeirishikuzu/n/n119417d1202e>

【無料】個人で起業して月収100万円達成者続出の講座

<https://zeirishikuzu.com/katou/kigyou100mankouza/>

